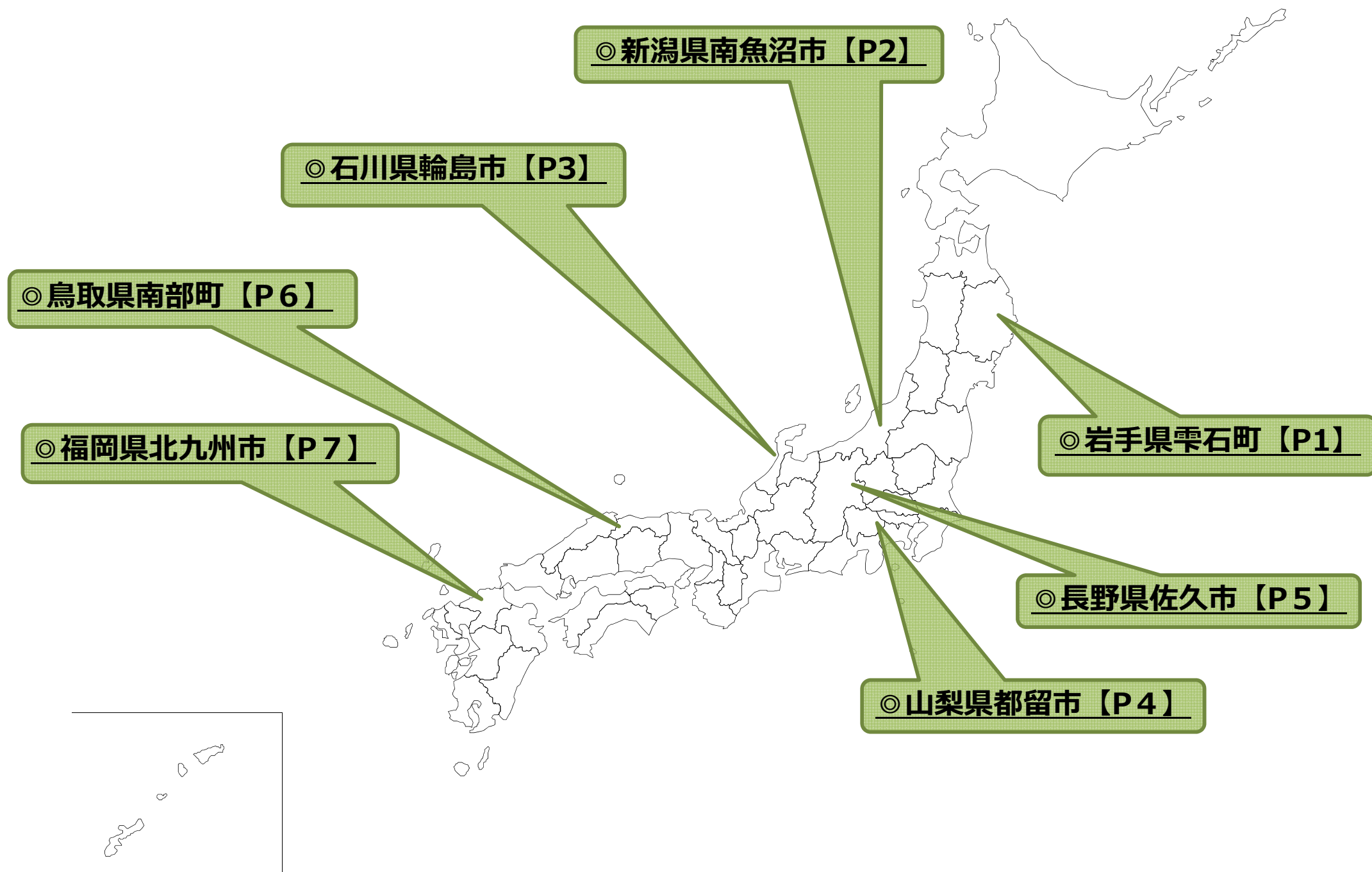


今回支援チームの対象とする地方公共団体（先行事例）の構想概要（目次）

※支援チームの検討状況や地方公共団体の構想の具体化等を踏まえ、対象を追加予定

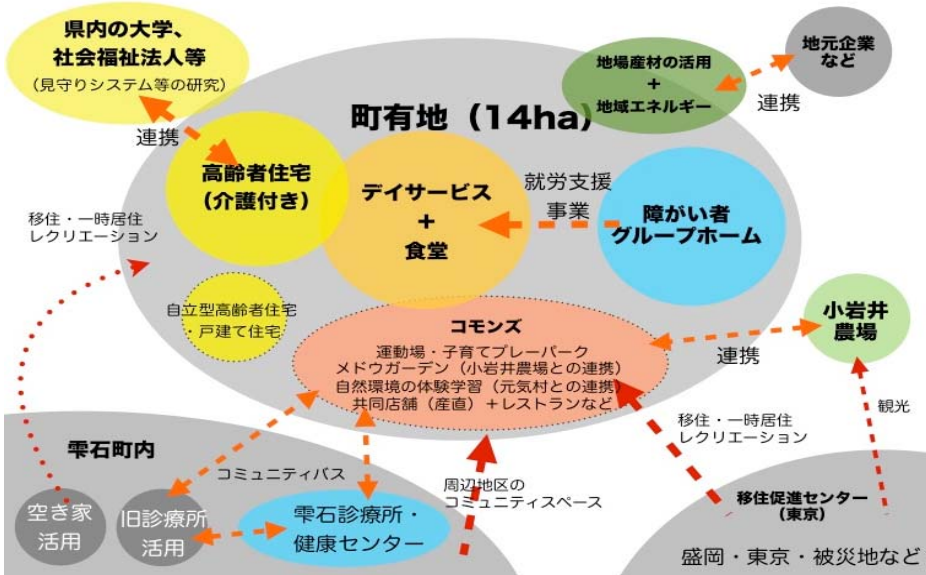


岩手県雫石町

<事業全体イメージ>



雫石町の総合的な課題の解決へ
 地域包括ケアシステム、移住促進による担い手の確保、地域福祉事業による雇用増加、町内のコミュニティ形成

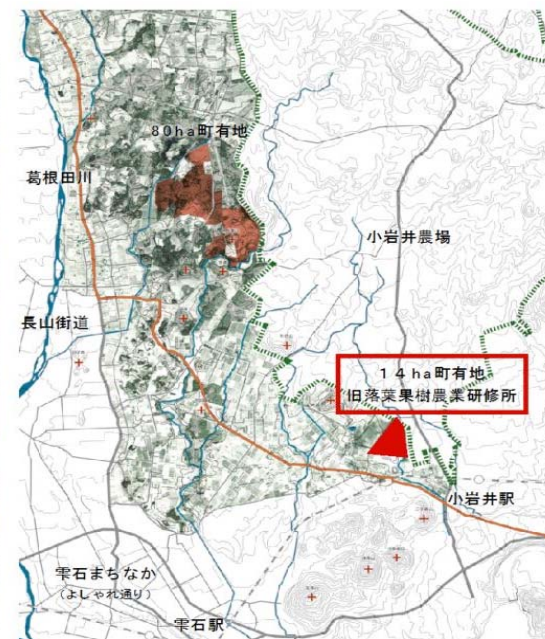


◆特徴

- ▶町有地 (14ha) を小岩井農場及び近隣地区 (団地・小学校) に溶け込ませつつ、取組を推進
- ▶運営推進を担う主体として、官民連携の下、株式会社コミュニティライフしずくいしを設立
- ▶住まいと併せて、障害者グループホームなどの福祉施設、食堂などコミュニティ施設、農業を通じた就労の場 (ハウス、ガーデン等)、絵本ライブラリー、子供の遊び場などを順次整備し、多世代交流を図る

<想定される対象地>

対象地の概要

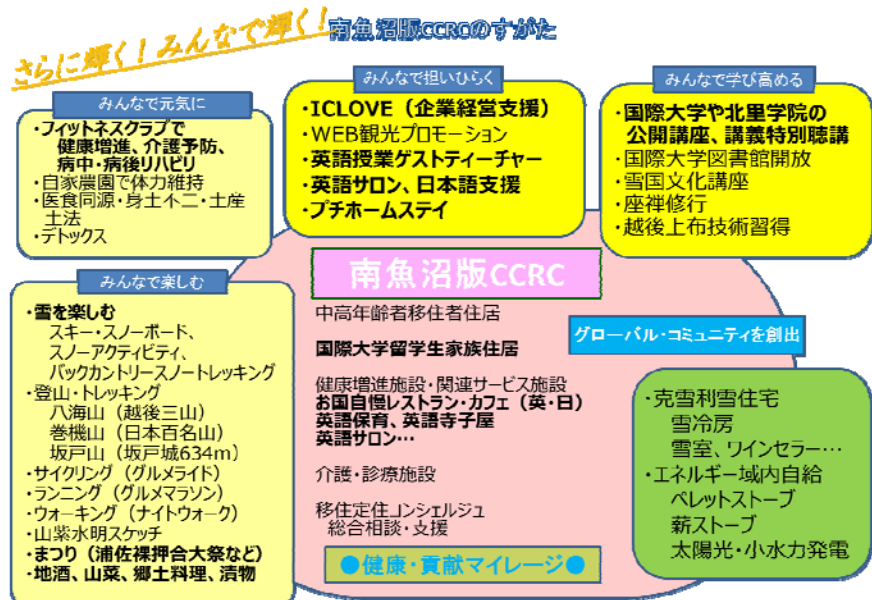


【基礎データ等】

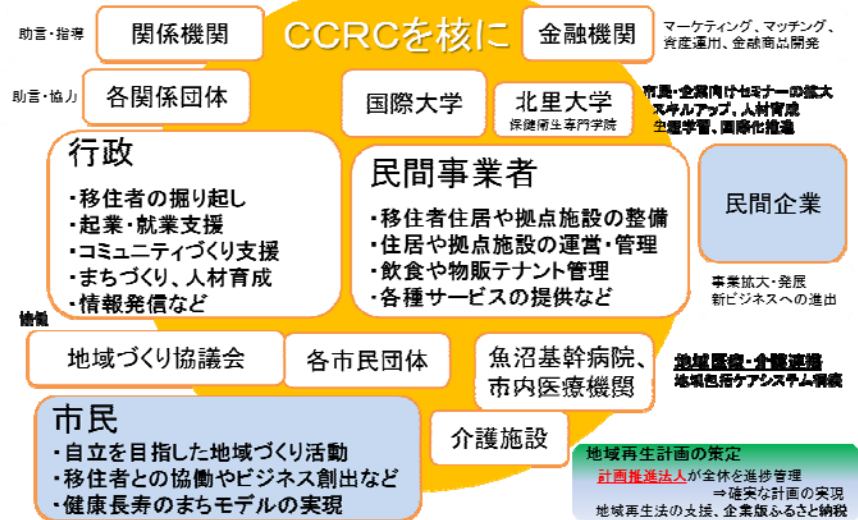
- ・人口：17,352人 (H27.12.31)
- ・「雫石町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に「生涯活躍のまち」(雫石町版CCRC) 推進事業の展開を位置づけ。
- ・町有地活用モデルプロジェクトを策定。
- ・まちづくり会社設立準備会を設置済み。((株)コミュニティネット、早稲田大学都市・地域研究所など)

新潟県南魚沼市

<事業全体イメージ>



南魚沼版CCRC構想の進め方 役割分担と連携



◆特徴

- ▶施設（診療所、保育所等）が集積する県立公園周辺に移住向け、国際大学にミドル・ロングステイ用向け施設を整備
- ▶移住者には留学生やその家族との交流、サポート、地域の英語・国際理解教育の担い手としての役割を期待
- ▶国際大学と連携し、国際文化のあふれるコミュニティを目指す
- ▶共用施設を地域に開放するほか、地域資源を生かしたアクティビティ（農業体験、登山、スキー）でも地域と多様に交流
- ▶ゆきぐに大和総合病院等を活用しながら、医療福祉連携の下、地域の力を活かした健康づくり・ケアを展開

<想定される対象地>



【基礎データ等】

- ・人口：58,513人（平成28年4月）
- ・「南魚沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、「メディカルタウン構想、CCRC構想に基づく産業振興」を位置づけ。
- ・南魚沼版CCRC構想を策定。
- ・南魚沼版CCRC推進協議会を設置済み。（国際大学、地元企業、金融機関など）

石川県輪島市

金沢大学COC+との連携

大学連携による地域再生ステップ

- ①輪島市での人材活躍の場構築
- ②奥能登の若手ネットワーク構築
- ③輪島市を中心にした奥能登再生
- ④金沢大学の人材養成と佛子園のコミュニティ形成が連動した新しい再生モデルへ

共創インターンシップの展開

佛子園「輪島KABULET®」

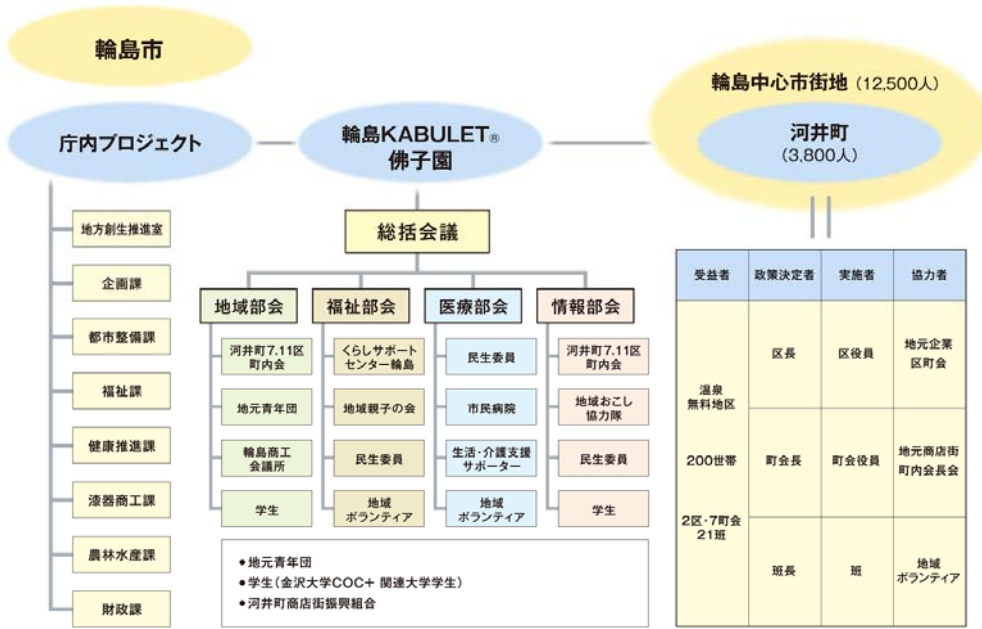
輪島市における多世代型コミュニティの構築
地方創生に向け、高齢者や子育て世代など、多世代多文化が混ざり合った街づくり。輪島市の地域資源を活用した地域活性化モデルの構築。



◆特徴

- ▶多世代交流施設やサ高住などの福祉施設の整備に当たり、中心市街地活性化の取組と合わせ、点在する既存ストック（空き家、空き地）を活用
- ▶大都市及び近隣転居と幅広い世代を受け入れ
- ▶金沢大学COC+との連携についても検討
- ▶シェア金沢など石川県内においてまちづくりのノウハウを有する社会福祉法人佛子園や青年海外協力隊経験者など外部人材を活用・協働して実施
- ▶漆器産業など地域産業の活性化や電動カートの導入も含めたプロジェクト

<想定される対象地>



【基礎データ等】

- ・人口：28,828人（H28.1.1）
- ・「輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、「漆の里・生涯活躍のまちプロジェクト」を重点プロジェクトとして位置づけ。
- ・「漆の里・生涯活躍のまちプロジェクト」を策定。
- ・輪島プロジェクト検討会を設置済み。（(社福)佛子園など）

山梨県都留市

<事業全体イメージ>

「生涯活躍のまち・つる」構想推進の背景

◆国全体のまちづくりの課題と現状

- ・人口減少・超高齢化・東京一極集中
- ・都市部の2025年(介護)問題
- ・東京圏居住者の移住希望
- ・**住所地特例の拡大**
- ・**日本版CCRC構想の検討**

◆市の課題の解決

- ・人口減少と高齢化
- ・産業活性化
- ・交流産業の空洞化

◆市の重点施策

- ・「**シルバー産業**」の構築・推進
- ・高齢者の「居場所」の整備
- ・「健康ジム」の整備
- ・大学との連携

「生涯活躍のまち・つる」

【手段・重要なまちづくりの施策】

「シルバー」から
ずっと光り輝く
「プラチナ」へ



短期的効果

【事業への期待】

- ◎人口減対策・地域経済活性化
- ◎雇用創出・ビジネスチャンスの創出
- ◎税収の増加
- ◎高齢者にやさしいまちづくりのPR

長期的効果

【まちづくりへの期待】

- まちぐるみの健康増進
- 新たな地域の担い手の誕生
- 大学連携の強化
(地域貢献・知的資源活用)
- 地域資源の再生

「大学コンソーシアムつる」での本市と3大学の連携



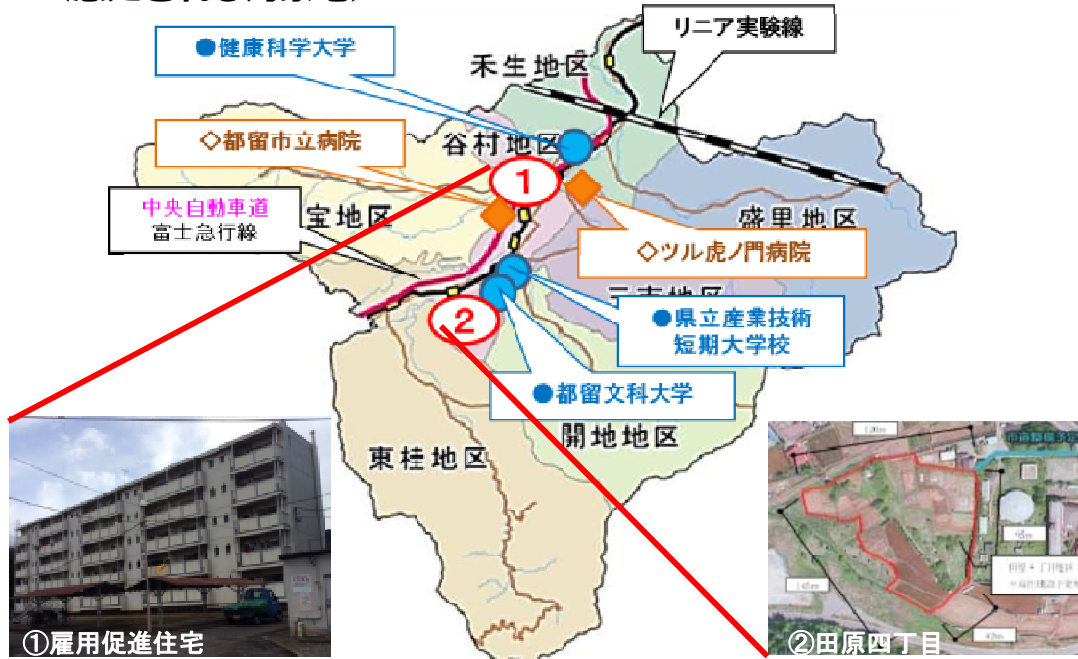
地域づくりとの連携で
大学に期待される教育・研究の充実

- ・実践的教育の場
- ・学生のキャリア支援、就職力向上
- ・研究領域の深耕
- ・新たな研究領域創出
- ・社会実験、実証研究機会
- ・生涯学習サービスの充実
- ・シニア、地域からの新たな学び

◆特徴

- ▶都留市立病院近傍の雇用促進住宅や都留文科大学近接の市の遊休地を活用し、取り組んでいく。
- ▶都留文科大学、健康科学大学、県立産業技術短期大学校の3大学と連携し、生涯活躍の機会創出を目指す。
- ▶都心から約90kmというアクセスの良さを活かした東京圏在住者や、都留文科大学卒業生をターゲットとし、住み替え支援（二地域居住等含む）を展開する。

<想定される対象地>



①雇用促進住宅



②田原四丁目

【基礎データ等】

- ・人口：31,947人（H28.2.1）
- ・「都留市総合戦略」に「都留市版生涯活躍のまち（CCRC）事業の推進」を位置づけ。
- ・「生涯活躍のまち・つる」基本計画を策定。
- ・「都留市CCRC構想研究会」を開催。

長野県佐久市

<事業全体イメージ>

東京圏における取組 (移住促進・ニーズ調査)

事業化検討キーワード: 住民主体による官民連携、地域社会(多世代)との共創、主体と事業の持続的な自立

東京圏において移住ニーズ調査、マーケティング等を一元的に行う「移住促進の拠点への出張」

移住対象者のニーズ調査と募集 (移住促進の拠点は「移住希望者とファン獲得のための仕込みづくりの場」)

東京圏の拠点において、佐久市の魅力や地域資源等をリアルタイムに発信し、移住ニーズ調査を実施 (移住事業とも連携)



移住希望者の現状・希望・不安など聞き取り、それぞれのニーズを把握 (既存事業とも連携)



地域住民主体による事業化検討 (地域の魅力づくり)

地域の協働体制「担い手会議」

事業化に向けて受入れ側として自分たちができること、難しいことなど住民の半体性を尊重した協働体制の構築



選ばれる地出の先鋭化 (魅力、メニュー) 移住者と地域をつなぐキーマン

地域住民と移住希望者と両につくのが家

地域プロデュース「地域連携・地域包括ケア連携」

地域プロデュース、地域がこし協力隊員による地域包括ケアへの連携が高住計画の構築



住民主体による事業推進 多様な意見の集約 地域メリットの訴求

事業化に向けたプロセス

■佐久市生涯活躍のまち構想の取りまとめ 基本コンセプトを固め、視察等のとりまとめ 官民の横断検討会議

■「佐久市まち・ひと・しごと総合戦略」に反映

■事業化検討組織の設置 (受入体制整備)

白田地区生涯活躍のまち事業化検討委員会 (まちづくり関係者、病院、農協、金融機関、大学、社会福祉協議会等) 担い手会議 (公募による)

■基本計画の策定

■地域再生計画の策定

事業を行う区域(市域)を画定、計画を通じた目標設定

■事業主体の策定 (公益等による)

事業の運営推進協議会(担い手)事業主体選定

■「生涯活躍のまち形成事業計画」の作成 (変更)

①社会共創活動に関する取組 ②社会共創活動に関する取組 ③地域的ケアに関する取組 ④移住支援に関する取組等

■入居募集 (目標志向型ノックダウン) 入居開始 (H30年度)

◆特徴

～「愛され」「褒められ」「期待され」「期待に応える」幸福のサイクルを実現～

- ▶自然に囲まれた生きがい豊かな「白田地区(農村型)」と都市機能が集約した「佐久平駅周辺地区(都市型)」での事業化を目指す
- ▶まず、白田地区から、既存ストック(公営住宅、空き家など)を活用し住まいの提供を目指すとともに、近隣の看護学校の学生等との混住も検討。また、地域拠点として整備する健康活動サポートセンターの活用を検討
- ▶JR東日本や県と連携した移住推進事業や「移住体験住宅」の運用など、積極的な移住推進施策を通じ、大都市からの呼び込みを図る
- ▶佐久総合病院等と連携し、地域に根付いた健康づくりメニューを移住者にも提供して「世界最高健康都市構想実現プラン」を推進し、健康づくり推進型生涯活躍のまちを実現する

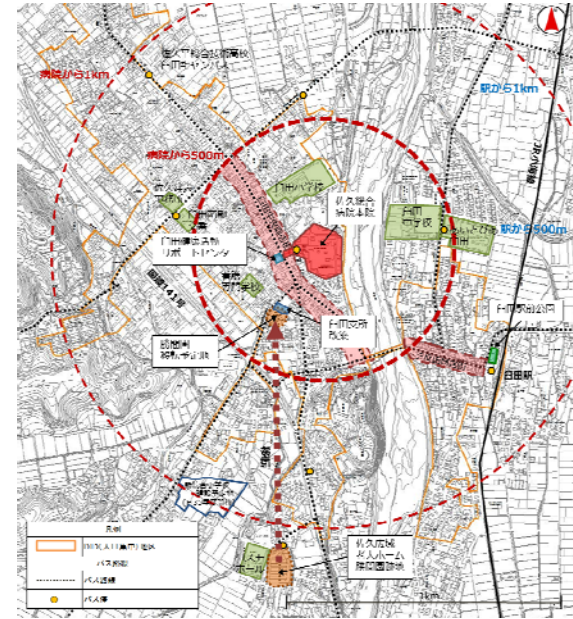
<想定される対象地> (※白田地区)



公営住宅



空き家



【基礎データ等】

- ・人口: 99,616人 (H28.3.1)
- ・「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に「佐久市における生涯活躍のまち(日本版CCRC)の構築」を位置づけ
- ・「佐久市生涯活躍のまち構想」を策定。
- ・白田地区生涯活躍のまち事業化検討委員会を設置済み。(まちづくり関係団体、病院、農協、金融機関、大学、社会福祉協議会など)

福岡県北九州市

1. 北九州市版生涯活躍のまちの基本的な考え方

これまでの取組から判明したこと（アクティブシニアの移住ニーズは根強い）

様々な移住形態ニーズ
(完全・2地域居住・シブシティ)

多様な住宅ニーズ
(戸建て・マンション・空き家等)
(購入・賃貸・施設入居等)

多様な就労ニーズ
(短時間、週4日以下等)

現役世代～リタイア層まで、幅広いニーズに対応することが必要

政令市ならではの「多様な強み」を生かすという視点

住宅ストック
(比較的安価で多様)

多様な雇用の場

充実した医療・介護

盛んな健康づくり活動

充実した社会参画支援

多様な事業者との連携

北九州市版生涯活躍のまち 基本コンセプト

既存ストックの有効活用

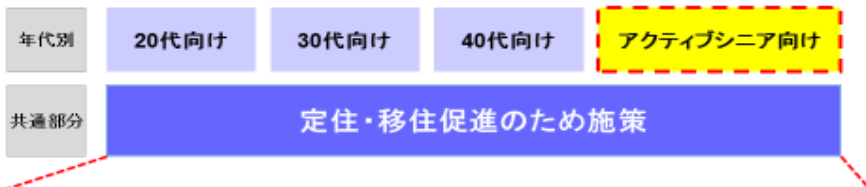
官民連携の推進

大都市型モデル
の構築を目指す

2. 「生涯活躍のまち」⇒ 定住・移住促進施策の一環として位置づけ

- ① 市域全体で、定住・移住促進の体制を整備し、各種施策を展開
- ② 年代別事業の一つとして「生涯活躍のまち」を位置づけ、官民一体となって施策を展開

生涯活躍のまち



- ① 定住・移住促進プラットフォームの組織化
- ◇ 民間企業・団体の積極的な参画を促す
 - ◇ 官民一体となって、定住・移住施策を展開
 - ※「生涯活躍のまち」では、全体運営推進機能を担う

- ② 一貫した移住相談体制の確立
- ◇ 首都圏に移住相談員を新設
 - ◇ 地元に移住コーディネーターを新設
 - ※「生涯活躍のまち」では、移住希望者支援を担う

- ③ 移住サポーターの募集・配置
(当地の生活や社会活動等に詳しい市民)
- ※「生涯活躍のまち」では、移住サポートを担う

- ④ 本市の魅力発信の強化
(ポータルサイト・SNS新設、移住ハンドブック作成)
- ※「生涯活躍のまち」では、情報発信機能を担う

◆特徴

- ▶ 「アクティブシニア向けの仕事提供」をコンセプトの基本に据えて、北九州市にとっての「生涯活躍のまち」とはいかなるものかという条件整備を市が中心となって行い、関心のある関係民間事業者の提案を基に、市内の地域ごとの特性に合わせたコミュニティづくりを目指す。
- ▶ 特に経験・技術を活かした起業や中小企業への技術還流を期待し、北九州出身者や転勤経験者等の北九州市にゆかりのある移住希望者等を受け入れ
- ▶ アクティブシニアに特化して職業紹介を行う「アクティブシニア・ハローワーク」の設置をはじめとする地方創生特区を活用した高齢者が活躍できる環境整備

3. 北九州市版生涯活躍のまちの推進体制

定住・移住促進プラットフォームが中心となって、
官民一体で「生涯活躍のまち」を推進

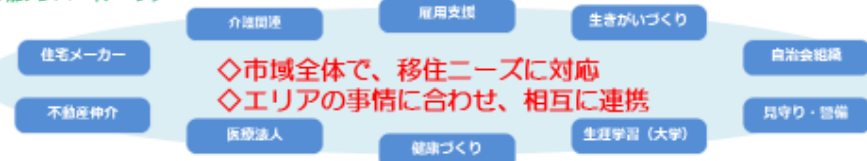
北九州市版CCRC推進委員会（過去、3回開催）

組織を発展的に改組、賛同者を募集

定住・移住促進プラットフォームの組織化

生涯活躍のまち=主要事業のひとつ

<参加メンバーイメージ>



<市域全体を対象とした取組み> ※イメージ(一例)

- ・北九州市への定住・移住の魅力発信
- ・移住関連情報の集約・見える化
- ・移住のコーディネート(ワンストップ窓口、移住プラン作成支援等)
- ・市内の住まい情報の提供、不動産の仲介等
- ・移住にともなうシニア就労支援
- ・医療・介護情報の提供
- ・健康づくり、生きがいづくり、生涯学習等の情報提供 等

<エリアを対象とした取組み> ※イメージ(一例)

- ・エリア事情に合わせた「生涯活躍のまち」の立案
- ・関係事業者が相互に連携する形で、サービスを提供
- ・お試住の実施、移住プランの作成
- ・各種相談対応(生涯学習・社会活動等)
- ・生涯学習・社会活動等のプログラム提供等
- ・移住者の入居後のアフターフォロー 等

【基礎データ等】

- ・人口：971,795人（H27.3.31）
- ・「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、「（仮）北九州市版CCRCモデルの検討」を位置づけ。
- ・北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会「定住・移住推進部会」を設置済み。（産業界、学界、金融機関、労働団体、住民、住宅分野、保健福祉分野、NPO等）

【参考】「生涯活躍のまち」構想の推進意向がある地方自治体一覧（平成27年11月1日現在）

	推進意向のある地方自治体		推進意向のある地方自治体
北海道	<u>北海道、函館市、旭川市、室蘭市、網走市、江別市、赤平市、名寄市、滝川市、砂川市、深川市、登別市、恵庭市、伊達市、当別町、松前町、知内町、厚沢部町、余市町、奈井江町、栗山町、沼田町、鷹栖町、占冠村、下川町、音威子府村、猿払村、津別町、大空町、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町、土幌町、上土幌町、鹿追町、釧路町</u>	滋賀県	<u>滋賀県、近江八幡市</u>
青森県	<u>青森市、弘前市、今別町、東通村</u>	京都府	<u>福知山市、京丹後市</u>
岩手県	<u>陸前高田市、八幡平市、雫石町、矢巾町、平泉町、洋野町</u>	大阪府	<u>大阪府、大阪市、吹田市、河内長野市、箕面市、羽曳野市、阪南市</u>
宮城県	<u>気仙沼市、岩沼市、涌谷町</u>	兵庫県	<u>兵庫県、神戸市、三木市、加西市、宍粟市、神河町、香美町</u>
秋田県	<u>秋田県、秋田市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、藤里町、羽後町</u>	奈良県	<u>橿原市、桜井市、平群町、川西町、十津川村、下北山村</u>
山形県	<u>山形県、酒田市、村山市、長井市、中山町、河北町、大石田町、最上町、舟形町、川西町</u>	和歌山県	<u>和歌山市、紀の川市、すさみ町</u>
福島県	<u>猪苗代町、金山町、会津美里町、泉崎村、川内村、浪江町</u>	鳥取県	<u>鳥取県、湯梨浜町、南部町</u>
茨城県	<u>笠間市、稲敷市、桜川市、大洗町、阿見町</u>	島根県	<u>島根県、松江市、出雲市、安来市、雲南市、飯南町</u>
栃木県	<u>栃木県、栃木市、那須町</u>	岡山県	<u>岡山県、岡山市、玉野市、赤磐市、奈義町、美咲町</u>
群馬県	<u>前橋市、沼田市、みなかみ町</u>	広島県	<u>呉市、三原市、東広島市、安芸太田町</u>
埼玉県	<u>秩父市、和光市、坂戸市、越生町、鳩山町、小鹿野町</u>	山口県	<u>山口県、宇部市、山口市、萩市、美祢市、周防大島町</u>
千葉県	<u>銚子市、館山市、旭市、鴨川市、匝瑳市、いすみ市、長柄町、御宿町</u>	徳島県	<u>徳島県、美馬市、三好市、那賀町、牟岐町、海陽町、板野町</u>
東京都	<u>杉並区、豊島区、青梅市、羽村市</u>	香川県	<u>琴平町</u>
神奈川県	<u>横須賀市、茅ヶ崎市、三浦市</u>	愛媛県	<u>愛媛県、松山市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、大洲市、久万高原町</u>
新潟県	<u>新潟市、糸魚川市、妙高市、南魚沼市、聖籠町</u>	高知県	<u>高知県、高知市、香南市、本山町、土佐町、佐川町、日高村</u>
富山県	<u>小矢部市、入善町</u>	福岡県	<u>北九州市、大牟田市、田川市、行橋市、うきは市、朝倉市、遠賀町、小竹町、広川町、大任町、赤村、福智町</u>
石川県	<u>輪島市、白山市</u>	佐賀県	<u>大町町</u>
福井県	<u>鯖江市</u>	長崎県	<u>長崎県、佐世保市、平戸市、壱岐市、西海市、雲仙市、長与町、佐々町</u>
山梨県	<u>山梨県、都留市、大月市、笛吹市、身延町</u>	熊本県	<u>熊本市、玉東町</u>
長野県	<u>長野県、松本市、上田市、岡谷市、諏訪市、中野市、大町市、佐久市、富士見町、高森町、木曾町、生坂村、山形村、小谷村、小布施町、飯綱町</u>	大分県	<u>大分県、別府市、臼杵市、豊後高田市、杵築市</u>
岐阜県	<u>大垣市、恵那市、養老町</u>	宮崎県	<u>宮崎市、小林市</u>
静岡県	<u>静岡県、静岡市、南伊豆町、清水町</u>	鹿児島県	<u>鹿児島市、伊佐市、南種子町、大和村、瀬戸内町、龍郷町、伊仙町</u>
愛知県	<u>愛知県、名古屋市、瀬戸市、春日井市、豊田市、南知多町</u>	沖縄県	<u>石垣市、恩納村、北大東村</u>
三重県	-	合計	推進意向あり：263団体 うち、地方版総合戦略に盛り込む予定（既に盛り込み済）： 220団体

※『赤字下線』は「生涯活躍のまち」に関連する取組を地方版総合戦略に盛り込む予定（既に盛り込み済）の地方自治体。